

# 新企業創出支援事業 (新企業創出支援事業会計)

## 1. 実施方針

### (1) 達成目標

- ① 新規創業件数 20件
- ② 相談対応件数 670件

### (2) 活動方針

- 新規創業の支援については、過去、財団が支援事業により投資した企業の経営破たんを機に直接投資を行わないこととなり、現在は創業しやすい環境づくりを進めることで起業家の裾野を広げるとともに、企業の自立・成長を促し、より高度な事業へと発展するよう他社との連携や民間等の各種支援策の活用につなげていくような支援に取り組み、企業の継続的な創出・育成を図る。

相談対応については、企業を取り巻く諸問題が、複雑・高度化かつ多岐に渡ってきていることから、職員の窓口での対応能力の向上とあわせ、企業が抱える課題の傾向・変化を把握し、専門的見地から各種課題に対応できるインストラクターや専門家の登録を積極的に行うとともに、窓口対応のみにとどまらず職員が積極的に企業に出向くことにより相談しやすい環境づくりに努めていく。

## 2. 実施計画

### (1) 創業・起業促進支援事業

- ① セミナー開催事業 【予算額 1,916千円】

- 異業種交流関連セミナー

ベンチャー企業・地場企業・大学関係者及び行政等のメンバーによる異業種交流の場を設け、講演会や参加者の事業に関するプレゼンなどを開催し、企業経営・技術力向上等に資する情報提供を行うとともに参加者間の交流を促進する。

- ・ 異業種交流関連セミナーの開催：15回（長崎・佐世保）

## ●創業・起業関連セミナー

起業意欲の醸成・啓発を図るため、市町・商工会議所・商工会と連携を図りながら、創業・起業セミナーを県内各地で開催し、起業を志す方の需要を掘り起こすとともに、創業・起業時の各種問題に対し助言・指導を行い創業件数の向上を図る。

・創業・起業セミナーの開催：10回（長崎・佐世保）

### ② NAGASAKI 起業家大学事業 【予算額 5,815千円】

起業予備群や創業期の経営者及び新規事業の企画担当者等を対象として、起業や新規事業の推進のために必要な経営の基礎知識や事業計画の作成等についてのセミナーを開催する。

また、離島地域等での開催や受講修了者へのフォローも実施する。

・開講予定コース：2コース

ベーシックコース：経営の基礎から事業計画の策定

起業家速成コース：起業の検討に必要な知識の習得

### ③ 投資先企業等フォローアップ事業【予算額 18,221千円】

成長が期待できる小規模事業者に対して、継続的に助言を行い、企業の成長を促進する。

また、大学等発ベンチャー及び元気ベンチャー創出支援事業の投資先企業に対し、公認会計士による会計調査、外部専門家委員会からの助言を参考にし、支援専門マネージャーが各企業の事業計画の進捗状況の把握に努めつつ適切な経営支援を引き続き行う。

## (2) 経営支援事業の主な事業

### ① 相談窓口事業 【予算額 2,300千円】

窓口相談担当のアドバイザーを配置し、企業の課題解決や事業計画作成等についての助言・指導などを行う。相談の結果、財団インキュベーションマネージャーによる個別相談や財団支援メニューの活用を促し、円滑な問題解決、創業・新分野進出をサポートする。

### ② 専門家等派遣事業 【予算額 4,330千円】

創業、経営、営業戦略、技術的課題などに関する専門的な相談に

対して、財団に登録している外部専門家（中小企業診断士、税理士、会計士、弁理士、司法書士等）や企業インストラクター（専門的な技術やノウハウを有する県内大企業OB等）を派遣し、適切な診断・助言を行い企業の問題解決を図る。

- ・ 専門家派遣数：40回
- ・ 企業インストラクター派遣数：120回